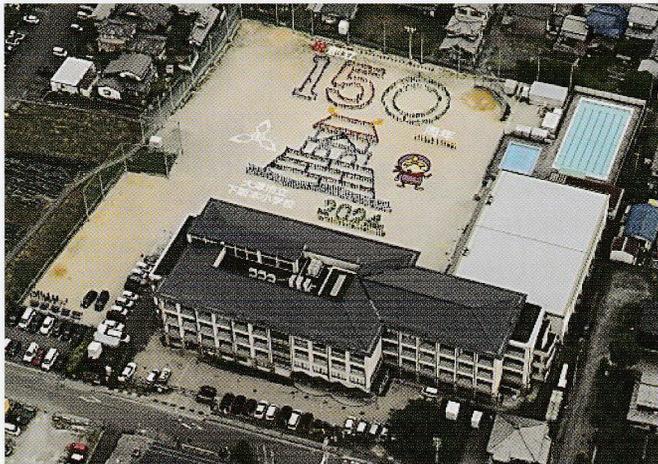


—— 地域の力 絆深めて 住みよい下阪本 ——

発行：下阪本学区自治連合会 ・ 下阪本学区まちづくり協議会 下阪本市民センター
発行者：連合会会長 真嶋龍道 ・ まち協会長 三田光夫 下阪本3丁目14番30号 077-578-0017

下阪本小学校創立 150 周年記念事業 開催(10月26日)に向けて



去る6月13日、創立150周年記念事業のメインであります航空写真を撮りました。お天気にも恵まれ絶好の撮影日和。早朝より業者の方が運動場に図柄を描き、航空写真のお膳立てが整いました。

そして、2時間目に撮影開始。全校児童と教職員が運動場に集まり、まずは本館4階のカメラに向けてポーズ、全校児童の写真を撮ってもらいました。みんなの笑顔がまぶしかったです。

次は、いよいよ航空写真の撮影。この写真には保護者や地域の方も参加していただき、約1000名にふくれあがりました。それぞれが決められた場所に移動し、『再現した坂本城』(図柄)が形成されていきます。

ついに「幻の城」坂本城が姿を現しました。誠に壮大な光景でした。これを描くにあたって、坂本城に詳しい地域の原敏隆氏にお話をお聞きし、それを参考にしながらイラストに仕上げましたことを付記します。定位置に移動したら、全員が赤・青・黄・緑など決められたカラーエプロンを着用して撮影の飛行機を待ちます。飛行機が見えると、「エプロンを少し持ち上げてそのままの姿勢を保って下さい」との指示に従い、飛行機が旋回する間、しばらくじっと我慢しました。

「終わりました」の合図とともに、歓声が上がりました。すると、飛行機もそれに応え、左右に翼を揺らして帰って行きました。飛行機が校舎の上、そして自分たちの上を旋回していた光景は、子どもたちの目に焼き付いたことでしょう。きっと創立150周年のよき思い出となったでしょう。



そして、6月19日 下阪本小学校正門前フェンスに「祝下阪本小学校創立150周年」(令和6年度下阪本小学校PTA後援)の横断幕が設置されました。150周年記念行事のお膳立ても整い、祝賀のムードが盛り上がってくれればと期待しています。

下阪本小学校創立150周年記念事業実行委員会では、当日演出効果を高めるためにそれぞれのパートで工夫を重ねています。

下阪本小学校チームは、当日の記念公演(Yu i・Me i姉妹による公演、150周年記念ソングの披露、各種コンテストの発表等)がメインで、その実施に向けて教職員が一丸となって取り組んでいます。

下阪本小学校PTA・下阪本幼稚園PTA合同チームは、模擬店や迷路体験等の実施に向けて最後の調整を行っています。

そして、下阪本学区チームは下阪本小学校の沿革、並びに江若鉄道の歴史や叡山駅について調べ、それらを写真展にて紹介していきます。去る2月「幻の名城」がついに姿を現しました。湖から西に約300mの住宅開発から、全長30m、高さ1.5mに及ぶ石垣が出土しました。この歴史的な発見を記念して、坂本城のイメージ画(堀井忠男氏制作)を展示、坂本城のジオラマ(原敏隆氏制作)を展示します。

また、「坂本城の石垣が発見された」とき、京津測定の柴崎社長がドローンを飛ばし、その様子を撮影してくださいました。それにナレーションを入れて当日放映します。皆さま、ご期待ください。